

平成28年9月29日

## 見沼たんぼ“小麦”6次産業創造プロジェクト

### 地元農作物（さいたま市産小麦粉）を活用した製品開発を開始します！

武蔵野銀行（頭取 加藤 喜久雄）は、地元農産物（さいたま市産小麦粉）を活用した製品開発を開始いたしますので、お知らせします。

今回の取組みは、「見沼たんぼ“小麦”6次産業創造プロジェクト」において収穫いたしました「さいたま市産小麦粉」をさいたま市内の事業者に無料で配布し、開発商品の試作を行っていたくもので、後日、試作品を披露するイベントを開催する予定です。

また、製品開発の開始にあたり、「さいたま市産小麦粉」を活用し製品開発を行っていたただける事業者を募集いたします。

当行は今後とも、埼玉に新たな価値を創造するため、地域活性化に繋がる事業を創出してまいります。

#### 「見沼たんぼ“小麦”6次産業創造プロジェクト」

平成26年9月、行政や民間企業等による研究会を設置し、さいたま市内での小麦の生産や製品化に向けた取組みを開始。27年11月、さいたま市見沼区に「さいたま小麦トライアルファーム」をオープン。本年6月に初収穫。

#### 《製品開発事業者の募集概要》

|            |   |
|------------|---|
| 配布する小麦粉    | <ul style="list-style-type: none"> <li>さいたま小麦トライアルファームで栽培したさいたま市産小麦粉</li> <li>薄力系（さとのそら、あやひかり）、強力系（ハナマンテン）の3種類</li> <li>3種類の総量で、100kg強を配布</li> </ul>                                  |
| 応募条件       | <ul style="list-style-type: none"> <li>地元食材・農作物の使用に関心がある方</li> <li>原則として、さいたま市内で小麦粉を使用した製品を試作できる方</li> <li>試作品の一部を当行にご提供いただける方</li> </ul>   |
| 応募期限       | 平成28年10月7日（金）   |
| 応募方法       | 地域サポート部宛にFAXまたはE-mail   |
| スケジュール（予定） | <p>10月 小麦粉の配布（第1回）<br/>➢本件応募先に無料で配布します</p> <p>小麦粉の配布（第2回）</p> <p>11月 ➢第1回の配布先に再度無料で配布し、開発商品を製造していただきます</p> <p>開発製品の披露イベント</p> <p>12月 ➢第2回配布分による開発商品を提供していただき発表いたします</p>               |
| 留意事項       | <ul style="list-style-type: none"> <li>さいたま市内の事業者を優先します。他市町村からの応募も可能ですが、応募状況によって配布できないことがあります。</li> <li>配布数量に限りがあり、一先で大量の応募には対応できないため、応募者が多い場合には、希望通りに品種・数量を配布できないことがあります。</li> </ul> |

以上

報道機関からのお問い合わせ先  
地域サポート部地域価値創造室 郷、守屋  
TEL (048) 641-6111 (代) 内線 2312, 2313

